

企業訪問 資源循環レポート

アルメック（株）大府工場

経営理念は「資源に無限の夢を。」
社員全員の物心両面の充足と
幸せを実現し
百年企業を目指す。

アルメック（株）



大府工場

アルメック 株式会社

■代表者／代表取締役 星河秀樹

■所在地／大府市北崎町遠山143番地

TEL 0562-44-1159 FAX 0562-44-3789



常務取締役 星河重仁氏（左）と課長の野々口慎氏（右）

昭和34年、豊明市前後町にて初代社長 星河仙吉氏が「星河商店」を創業。昭和43年「有限会社星河商店」を設立、同年豊明第一工場が竣工し大型設備機器を徐々に増設、時代を先取りいち早く資源のリサイクルに取り組む。平成23年、四代目 星河秀樹氏が代表取締役役に就任。同社は自動車産業等の生産現場や解体現場から発生した、役割を終えた金属製品（鉄、ステンレス、銅、真鍮、アルミニウム、レアメタルなど）、樹脂の端材を回収。集荷物は品種ごとに加工し原料として再生され、大手鉄鋼メーカー、大手商社などに出荷、あらゆる資源をリサイクルする事により環境保全に貢献し循環型社会の構築に寄与している。

企業の生産性を高めるうえで必要とされる人材育成の在り方について、アルメック（株）常務取締役 星河重仁氏、総務部課長 野々口慎氏にお話を伺いました。

■新卒採用実績

毎年3名程度の採用を目標に活動を実施。10期生までの採用実績は、男性-19名、女性-10名。在籍人数は、男性-14名、女性-4名。2018年10月現在の定着率は62%

採用活動は、インターンシップ（金属リサイクルについての説明の後、社員から道具の使い方等を説明し、実技を実施）、会社説明会、合同企業説明会、大学の学内説明会などへ参加。

同社が求める人材とは、『経営理念を理解し、共

感できる人』。しかし理念の共感は筆記試験とは異なり、目に見える基準が存在しないためコミュニケーションが重要。面接官は学生に、アルメックでどんな仕事がしたい?等の質問をして、相手の美点を捉え損なうことが無いよう面談を進めていく。会社と学生にとってベストな結論を出すために徹底的に話し合いを行っている。

■人財確保・定着

『『経営品質』の4本柱』の考え方に基づき、自社の発展及びステークホルダーにも喜ばれる取り組みを実践。4本柱の考え方は良い組織作りの基本となっている。中でも優先されるのが“社員重視”であり、次に“顧客本位”“社会との調和”“独自能力”となっている。なぜ“社員重視”がトップなのか?それは、本当のお客様重視の仕事をするには、仕事をする人の質が最も重要であると考えられているためである。

■「4本柱」の取り組み事例

▶社員重視

- ・社員満足度調査を実施
質問内容：経営の方向性、直属の上司、仕事、対人関係、職場環境や福利厚生その他について。直近の満足度は92.5%。
- ・各種勉強会の開催
ドライバーの事故防止を過積載、重機の安全、法律研修、改善提案の活性化、目標管理研修他
- ・社内イベント実施
社員旅行、BBQ大会、クリスマス会（A）、誕生日食事会、情報共有ツール「TUNAG」他
- ・健康経営
健康宣言、女性の作業環境整備（B）（現場に女性が一名在籍）、ストレスチェック、カウンセリング面談、おねむり保健室、禁煙セミナー他 健康経営優良法人（2018・2019）
- ・安全衛生



安全大会、朝礼後のKYT活動、標示類の整備、暑さ・寒さ対策、コンサルタントによる指導

▶顧客本位

- ・顧客満足度調査の実施
質問内容：社員の挨拶・言葉遣い、営業頻度、安全への配慮、車両メンテナンス他
直近の満足度は92.1%

・改善提案制度

顧客により良いサービスを展開するため「改善提案制度」を導入。優秀事例は表彰される。今後はQCの導入を目指している。

▶社会との調和

小学生向け工場見学会（C）、小学校への出前授業、地域清掃活動／月2回（D）、優良従業員表彰（E）、自治会行事の準備・手伝い（ボランティア活動）、商工会祭り等への協賛。

▶独自能力

- ・人事評価制度
査定時に「着眼点一覧表」及び、部門・等級別の「職務遂行明細」にて評価。「役職・等級制度」導入と合わせ公正かつ厳格な人事評価制度を構築。
- ・社員総会開催により全社の方向性の統一、目標の共有化（F）
- ・2018年愛知環境賞、優秀賞受賞
受賞テーマ：業界初の「水を使ったJIGによる金属残さの選別」

社内木鶏クラブ

スタートは2008年。以降毎月開催し2016年12月で通算100回を突破。ルールは「美点凝視（相手の良い所を見る）」に徹し前向きな発言をすること。

社内木鶏クラブの効用は①先達の経験や考え方を、読書（指定箇所）を通じて学び取る。②本を読み、感想を書き、発表をするというプロセスを通じて仕事に必要な基礎的能力を養う。③社員間のコミュニケーションを活発にする。以上が挙げられる。この活動から社員の読解力や文章作成能力が向上し、プレゼンテーション技術が磨かれ、日常業務のスキルがアップした。